

キヤッチ
CATCH

VOL.91

2019.11



西東京市図書館

唐突に変わる日常

『退出ゲーム 〈“ハルチカ” シリーズ 1〉』

初野晴 著 KADOKAWA

ハルタ（上条春太）とチカ（穂村千夏）は、廃部寸前の弱小吹奏楽部に所属する高校一年生。幼なじみの二人は、部員集めに悩むのと同時に、吹奏楽部顧問である草壁先生との三角関係にも悩んでいます。吹奏楽の“甲子園”^{ふ ちんがん} 普門館を目指し部員集めに奔走する二人に、学校で起こる数々の難事件がふりかかります。

ハルチカシリーズの第一弾であるこの作品は、四つの短編で構成されています。部員引き抜きをかけて演劇部と即興劇対決を行う表題作「退出ゲーム」。文化祭開催直前に化学部から盗まれてしまった劇薬の行方を追う「結晶泥棒」。六面全てが白色でできているルービックキューブの謎を解き明かす「クロスキューブ」。学校に不法侵入した少女に尋ねられた“色”を調べる「エレファンツ・プレス」。学校で起こる事件を解決しながら、部員を少しずつ増やしていくハルタとチカ。

果たして二人は夢の吹奏楽部の甲子園に出ることはできるのか。そして、ハルタとチカの恋の行方は……。

シリーズは『退出ゲーム』から『初恋ソムリエ』、『空想オルガン』、『千年ジュリエット』、『惑星カロン』と続きます。2016年にアニメ化、2017年に実写映画化もされているこのシリーズ。本と映像の違いを見つけるのも面白いかもしれません。

『変身』

東野圭吾 著 講談社

「変身」と聞いて皆さんは何を思い浮かべますか？普通の人間が悪役を倒す正義のヒーローになるのでしょうか、それとも自分の飼っているペットに変わってしまうのでしょうか、思っていることは人それぞれだと思います。人間みんながみんな同じことを思っているわけがないですね。この本は人間の思考について考えさせられる物語です。

主人公である成瀬純一は銀行強盗犯に頭を銃で撃たれ昏睡状態になり、奇跡的に命を取り留めますが、記憶がよみがえってから、自分の感性や好みが事件前とは異なっており、違和感を覚えるようになります。また、純一は自分のものと思われるピンに入った脳みそを見つけます。純一の脳みそは10万分の1の確率でしか見つからないドナーのものだということを知ってしまいます……。

また、事件前に交際していた恋人にも違和感を覚えるようになる。自分が今まで気にならなかったことが気になるようになったり、恋人と一緒にいても楽しいと感じなくなっていくてしまったり。そのほかにも、隣人の行動に殺意がわきナイフで刺そうとしたり、職場の先輩を酒瓶で殴ろうとしたり……。純一は自分の行動がおかしいと思い担当医に相談するが、担当医に「ありえない」と言われ、自分でドナーの正体が誰かを探しに行くことにする……。

純一の本物のドナーが分かったときに、ぞわっとする物語です。ミステリーですがとても読みやすいです。みなさん読書の秋、秋の夜長の相棒にこの本はいかがですか？

ぜひ読んでみて下さい！！

『夏と花火と私の死体』

乙一 著 集英社

小説の文は、様々な目線で書かれています。例えば少年の目線、少女の目線、夏目漱石のように猫の目線で書く人もいますし、世の中には野球のボールの目線で書かれた作品もあるそうですよ？

今回紹介する本『夏と花火と私の死体』も、奇抜な目線を通じて書かれた作品です。その目線はなんと「死体」、殺された人間の目線で書かれているのです。

この作品は主人公の五月を殺してしまった友人の弥生が、兄の健と共にその死体を隠そうと画策するという話が死体である五月の目線で展開されていく、というものです。

この作品の魅力は、緩急のつけ方の上手さや細かな情景描写等多々ありますが、やはりその最たる魅力は「死体」という奇妙な目線で書かれた文章です。

五月の死体としての語り口はあまりにも無邪気で、自分の死体を隠そうとする兄妹を見ているその見方は怖い程に私情が挟まれておらず、ただ淡々と見ている、といった感覚です。それでいてその淡々とした語りが完全にただの状況の説明にならないように、所々でこれは確かに五月の目線で書かれている、と思わせるような表現がなされています。この工夫のおかげで、読者は一貫してただの俯瞰者ではなく、死体である五月の目線で読めるようになっているのです。

この作品はホラー小説という形をとっていますが、読んでみると怖さよりも「死体」として物語を俯瞰している奇妙な感覚におそわれる、そんな物語です。

あなたも兄妹のひと夏の死体隠しの物語を一風変わった目線で見ませんか？

『告白』

湊かなえ 著 双葉社

S 中学校は、「厚生労働省・全国中高生乳製品促進運動」のモデル校に指定されていた。そのため、終業式の日でさえも生徒は200ミリリットルの牛乳を飲まされていた。1年B組のみんなが紙パックを戻している最中、担任の女の先生は淡々と話し続けている。なんと、今月いっぱい教員を退職してしまうのだ。始めは牛乳の話をしてしたが、途中からは自分の教員人生や、結婚直前に婚約者がHIV感染者だったことなどプライベートな内容になっていく。

先生の婚約者は感染者だと分かった後、結婚を拒んだ。先生はそのときにはもう妊娠していたためシングルマザーとなり、1人で娘の愛実を育てていく。

しかしある日、1人で頑張っていた幼い愛実に突然の「死」が訪れる。

生徒たちが遊んでくれていたので、愛実はいつも先生の仕事が終わるまで保健室で待っていた。だが、事件の日先生が迎えに行くと保健室には愛実がいなかった。いつも遊んでくれている女子生徒たちや先生も協力して捜したが一向に見つからない。そんなとき、生徒から「前にプールから出てきたところを見たことがある」と教えられる。その情報をもとにプールに行くと、なんとプールの暗い水面に愛実が浮かんでいた。結局、愛実の命を救うことは出来ず、警察には事故死と判断される。

愛実の事件について話し終えると、ついに先生は辞職する理由を話す。先生が辞職する理由、それは愛実の死は事故死ではなく、この1年B組の生徒に殺されたからだった。

この作品は、第一章のインパクトの大きい内容から始まります。そして、第一章の先生の発言には多くの伏線が張られており、回収していく度に驚きが生れます。また、章ごとに主人公が変わっていくため様々な観点で読むことができるのも、この本の魅力の一つです。私は、犯人のとても中学生とは思えない頭の良さに驚きました。この作品は、映画化もされているため、二度同じ作品で楽しむことができます。ぜひ、皆さんもこの本を読んでソクッとしてみてはいかかでしょうか？

『アヒルと鴨のコインロッカー』

伊坂幸太郎 著 東京創元社

大学生になる椎名が、引っ越してきたばかりのアパートの隣人、河崎から本屋襲撃に誘われ、モデルガンを手にもってボブ・ディランの「風に吹かれて」を口ずさみながら本屋の裏口に立っているところから物語は始まります。しかし、章が変わると「2年前」の、もう一人の主人公の琴美の物語が進んでいきます。「現在」と「2年前」のふたつの物語は交互に進み、少しずつ重なり合っていますが……。

ボブ・ディランを知っていますか。2016年、歌手として初めてノーベル文学賞を受賞した人です。ノーベル賞のニュースを知ったとき、私はこの本を思い出していました。この本を読んだときに、ボブ・ディランって？「風に吹かれて」ってどんな曲？と思い、聴いてみたのです。聴きなれたJ-POPとは全く違うけれども、とても印象に残る声でした。登場人物の河崎が「神様の声」と言っているのに影響され、これが神様の声なのかもしれないなあと思いながら聴いていたことを憶えています。自分の知らないジャンルの曲を知るのも楽しいものですね。

私は同じ本を読み返すことはあまりありませんが、この本は何度か読みました。物語の最後の最後に「2年前」と「現在」のふたつの物語に驚くようなしかけがあることが分かるのです。探偵や警察官が出てきて推理するというような大がかりなミステリーではありません。しかし「現在」の主人公である椎名が日常生活のなかで少しずつ奇妙なできごとに巻き込まれ、その謎が最後に一気に明かされるので、充実感を得る1冊です。2度目以降は初めて読むときとは違った楽しみ方ができるのでオススメです。ボブ・ディランを聴いて、是非読んでみて下さい。

★今号は、「YA!YA ひろば」はお休みです。

一緒にCATCHを作ませんか？ CATCH共同編集者を募集します



いつもCATCHを読んでくれている皆さん、
こんにちは！

CATCHは共同編集者（今年度は5人）と図書館スタッフで作っています。来年（令和2年）度の共同編集者を、この冬から募集予定です。

対象：中学生～22歳の方

活動期間 1年間（令和2年4月から令和3年3月まで）

共同編集者には、年6回の共同編集会議に参加してもらいます。（会議日程はメンバーで都合の良い日を相談しながら決めるので、テストや学校の行事で行けない日があっても大丈夫！）

～どんなことをするの？～

① 編集会議（企画）

次号の本の特集内容を、アイデアを出し合って決めます。図書館に投稿されたYA！YA！ペーパーから、次号に掲載するものを選びます。

② 原稿執筆

執筆担当は、特集に掲載するおすすめの本の紹介文を、締切までに各自で執筆します。

③ 編集会議（校正・編集）

お互いの原稿を読み合い、誤字脱字は無いかな、分かりにくい表現は無いかなチェック！表紙やYA！YA！ひろばの原稿も作成します。

④ 入稿・校正

いよいよ印刷屋さんに入稿します。校正原稿が届いたら、各自で最終チェック。印刷屋さんへGOを出して、印刷 納品されたら完成です。

①～④の流れを、年度内に3回くりかえします。

詳しい応募方法については、12月以降に図書館のHPやポスターでお知らせします。

編集の仕事に興味がある人、文章で好きな本を紹介したい人、イラストが得意だから表紙やカットを描けるよ！という人…ぜひあなたのアイデアやセンスで、一緒に素敵なCATCHを作りましょう☆

「小中学生のための初めて学ぶ著作権」新装改訂版

岡本薫／著
朝日学生新聞社

「著作権法」って何か知っていますか。

それは、「がんばって何かを作り出せば、他人に無断で使われないように、国家が保護してくれる」という法律です。では、なぜ「著作権法」があるのでしょうか。

例えば、あなたが何か作品を作ったとしましょう。勝手に使われると、嫌になりませんか。無断で使う人から、守るという法律が必要なんです。それが、「著作権法」。「著作権」で保護されているものの例としては、「論文」「音楽の歌詞」「絵画」「写真」などがあります。

この本では、「社会のルール」から「著作権法」まで幅広く説明されています。

皆さんも、「著作権法」について、考えてみませんか。

編集後記

仕事もおちついてきて、「さあ本でも
読みたい」と思っていたのに、最近

映画ばかり見ているので笑

本は「読む」状態だから、
いかに忙しさに片付けたいけれど、読む
ための体力が... 図書館に寄る
時間 もなかなか作れない... (泣
そろそろ年末に向けて、あれこれ
やるなといけないうえ (でもそなたでもいけな
いう声かきこえる...)

どこかお茶行にでも行ってこようかな〜
(い)？ -mii

当初は別の作品を紹介
する予定でしたが、偶然
学校の図書室で手にした
「夏と花火と私の死体」があ
りにも面白かったので、
そちらを紹介させて頂いた
きました。
今回は表題作を紹介し
ましたが、同じ本に収録
されているもう1つの作品
もかなり面白いので
おすすめです。

アオイ